

[第859回ゼミ報告] 2023年6月9日号

「マイナ」文字が新聞の一面に踊る、法案が通るまでは、ひた隠し。ゼロ歳児に銀行口座を登録せよと。なるほど銀行による未来の預金者獲得か・・・5月10日のゼミは、斎藤幸平『ゼロからの『資本論』』第3章「イノベーションが「クソどうでもいい仕事」を生む」を後藤さんの報告で行いました。ケインズは労働時間が短くなると、否、百年後も労働に駆り出され、生活に余裕はなく、ヘトヘトになるまで働く。市場での競争に勝つためより安くと。生産力の上昇は剰余価値として資本家へ。構想と実行、精神労働と肉体労働が分離される。分業システムに組み込まれ何を作るか分からない。テイラー主義は生産の共有財産を囲い込む行為、労働者の自律性を奪う。機械労働・単純作業・資本の指揮・命令で「資本の専制」へ。生産性が上がっても仕事にあぶれる一方、ブルシットジョブ:クソどうでもいい仕事が急増している。人間の労働の回復、労働の自律性の取り戻し、疎外の克服から必然の国、自由の国へ。デジタル/テクノ封建制の出現、との問いが発せられる。

討論では、マルクスの初期と後期を個別に断絶と扱うのか、それとも継続したものか、廣松渉やアルチュセールに対する佐々木隆治は、疎外論・物神性・物象化論での切断はなく、『資本論』の中に疎外論は書かれている、と。スターリンはどうだったのか。「疎外」概念にヘーゲルとマルクスでは違いがある。トヨタのジャストインタイム:カンバン方式、その元祖はテイラーの科学的管理法、かれは製鉄所の主任として工作機械製造工程での作業員の動作時間計測から効率化を管理した。対するトヨタのカンバン方式は、作業員の「構想」をカイゼンとして部分的に任せる方式である。一定の疎外の克服は展望できるのか。資本主義の「自由」はカッコ付き、人と人の関係の自由:コンビニで買う人の自由に対して、コンビニで働く人はどうか、自由・平等の関係か。グレーバーの「ブルシットジョブ」には違和感がある、今野は、雇い主の取り巻きを日本ではイメージしにくいという。「労働民主制」はどうか、「民主主義は工場の門前で立ちすくむ」、労働現場の民主制:構想と実行。生産力のアップ、人手不足でも賃金は上がらない日本、有期雇用で働く人を10年で雇い止めの大学あり。

会場参加は川口さん・山口さん・高田、オンライン参加は斎藤さん・竹内さん・後藤さんの6名でした。

* 6月14日(第2週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 858 5271 9518 パスコード: 401651

***** ゼミ日程 *****

6月14日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
柄谷行人『力と交換様式』第1部第4章 交換様式Dと力 報告:後藤さん
6月28日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
斎藤幸平『ゼロからの『資本論』』第4章 緑の資本主義・ 報告:斎藤さん
7月12日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
柄谷行人『力と交換様式』第2部第1章 ギリシア・ローマ 報告者未定
その後 7/26 [アイクルの部屋] 9/13, 9/27, 10/11, 10/25, 11/8, 11/22

◇第三学科事務局/高田好章: ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755
HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso